

伊藤ひろし県議会報告

妊娠・分娩時の母と子の命を守る

↳周産期母子医療センターの強化↳

現在、習志野市の妊婦の方の救急搬送は、主に八千代市に所在する東京女子医科大学付属八千代医療センターです。

【千葉県が運営費、施設整備費を補助】

令和八年度からは、

千葉県に一病院増え、

浦安市にある順天堂

大学医学部付属浦安

病院も高度総合医療

施設として指定し、

新たな受け皿として

取り組みます。



母体（お母さん）・胎児（おなかの赤ちゃん）・新生児を、産科と小児科医が連携して、ハイリスク妊娠・分娩等に対応し、母児双方の命と健康を二十四時間体制で守るのが総合周産期医療です。

『問題提起』

習志野市を含む東葛南部地域は、人口が増えていきます。コロナウイルス蔓延時において、千葉県内で感染した妊婦さんが、入院先が見つからず自宅出産し、赤ちゃんが亡くなる事案が発生しました。

【お伝えしたいこと】

妊婦・胎児・新生児の命を守るまちづくりには、市と県の架け橋として取り組めます。

